



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

東

上場会社名 株式会社杉村倉庫 上場取引所
 コード番号 9307 URL <http://www.sugimura-wh.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 柴山 恒晴
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 安西 史朗 (TEL) 06-6571-1221
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,167	5.0	655	35.7	637	42.9	412	62.5
27年3月期第2四半期	4,922	4.1	483	14.0	446	14.3	254	140.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 293百万円(△36.7%) 27年3月期第2四半期 463百万円(204.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	26.02	25.99
27年3月期第2四半期	16.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	20,376	10,056	49.3
27年3月期	19,967	9,802	49.0

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 10,049百万円 27年3月期 9,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年3月期	—	3.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	2.5	1,180	7.9	1,130	12.0	670	62.7	42.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	15,953,010株	27年3月期	15,919,010株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	68,169株	27年3月期	66,885株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	15,864,449株	27年3月期2Q	15,834,141株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済、金融政策により企業収益や雇用環境の改善がみられましたが、円安の進行による物価の上昇で個人消費が伸び悩み、先行きに不透明感が強まる状況で推移しております。物流業界におきましては、消費増税後の反動で荷動きが鈍った前連結会計年度に比べ、若干の回復基調がみられるようになったものの、依然として低水準で推移しております。

このような事業環境の下、当社グループにおいては顧客ニーズへの的確な対応と業務の効率化を図るため、事業活動の核となる倉庫設備の整備を進め、積極的な営業活動を展開いたしました。今年5月に着工した大阪市港区の新倉庫の建替え工事は順調に進んでおり、8月には前期より進めていた賃貸物件の建替え工事が完了しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は、51億6千7百万円となり、前年同四半期に比べ2億4千4百万円(5.0%)の増収となりました。営業原価は41億8千2百万円となり、前年同四半期に比べ1億5千2百万円(3.8%)増加しましたが、販売費及び一般管理費は3億2千8百万円となり、前年同四半期に比べ8千万円(19.6%)減少しました。この結果、営業利益は6億5千5百万円となり、前年同四半期に比べ1億7千2百万円(35.7%)の増益となりました。営業外収益・費用では受取配当金が増加し、支払利息や持分法による投資損失等が減少しましたので、経常利益は6億3千7百万円となって、前年同四半期に比べ1億9千1百万円(42.9%)の増益となりました。

また、倉庫の改修工事に係る固定資産処分損やゴルフ会員権売却損を特別損失に計上しましたが、四半期純利益は4億1千2百万円となり、前年同四半期に比べ1億5千8百万円(62.5%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(物流事業)

当第2四半期連結累計期間は新倉庫の建替え工事の影響などで、米や紙製品などの取扱が前年同四半期に比べ減少し、保管料収入が減少しましたが、電気製品や食料品の取扱、リネンサプライの配送等やオフィス移転作業などの取扱が好調で、荷役荷捌料収入や運送料収入が増加しました。この結果、外部顧客に対する営業収益は43億6千6百万円となり、前年同四半期に比べ2億1百万円(4.8%)の増収となりました。費用面では減価償却費や租税公課、販売費及び一般管理費等が減少しましたので、セグメント利益は3億2千1百万円となり、前年同四半期に比べ1億1千3百万円(54.3%)の増益となりました。

(不動産事業)

一部の賃貸物件の契約解除の影響等による減収要因もありましたが、8月には大阪市港区の賃貸物件が竣工し、業績に寄与しました。外部顧客に対する営業収益は6億5千7百万円となり、前年同四半期に比べ4千万円(6.6%)の増収となりました。費用面では修繕費等が増加しましたが、セグメント利益は5億1千9百万円となり、前年同四半期に比べ1千8百万円(3.8%)の増益となりました。

(その他の事業)

ゴルフ練習場は前年同四半期に比べ客単価が下がったものの、入場者数が若干増加しました。営業収益は1億1千1百万円となり、人件費や業務委託費等が減少しましたので、前年同四半期に比べ増収増益となりました。

売電事業は、営業収益が3千万円となり、減価償却費が減少しましたが、前年同四半期に比べ減収減益となりました。

以上により、その他の事業の営業収益は1億4千3百万円となり、1百万円(1.3%)の増収となりました。費用の減少によりセグメント利益は3千2百万円となり、前年同四半期に比べ4百万円(14.4%)の増益となりました。

(2)財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億8百万円増加し、203億7千6百万円となりました。これは、流動資産においてリース投資資産や有価証券等が増加して前連結会計年度末に比べ5億7千2百万円増加したことなどによります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億5千4百万円増加し、103億1千9百万円となりました。これは、流動負債の未払金や未払消費税等が減少したのに対し、固定負債の長期借入金が増加したことなどによります。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億5千4百万円増加し、100億5千6百万円となりました。これは、株主資本の利益剰余金が3億6千5百万円増加したことなどによります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年4月28日に公表した業績予想を平成27年10月15日に修正いたしました。なお、当該予想数値の修正の詳細については、同日公表の「平成28年3月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,607,317	1,388,362
受取手形及び売掛金	1,135,679	985,197
リース投資資産(純額)	1,607,032	2,396,288
有価証券	712,441	819,690
繰延税金資産	52,432	55,676
未収消費税等	-	32,584
未収還付法人税等	25,000	-
その他	51,026	86,116
貸倒引当金	△4,017	△4,025
流動資産合計	5,186,914	5,759,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,464,631	5,372,332
機械装置及び運搬具(純額)	523,854	523,395
工具、器具及び備品(純額)	85,630	88,875
土地	4,821,971	4,821,971
リース資産(純額)	9,368	42,227
建設仮勘定	286,400	372,039
有形固定資産合計	11,191,856	11,220,841
無形固定資産		
借地権	295,290	295,290
その他	34,156	31,839
無形固定資産合計	329,446	327,129
投資その他の資産		
投資有価証券	2,890,117	2,707,948
繰延税金資産	78,943	84,167
その他	311,928	297,671
貸倒引当金	△21,387	△21,387
投資その他の資産合計	3,259,603	3,068,400
固定資産合計	14,780,907	14,616,372
資産合計	19,967,821	20,376,262

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	397,455	337,672
1年内償還予定の社債	-	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,363,392	1,408,332
未払金	208,604	31,132
リース債務	3,751	10,023
未払法人税等	64,466	215,332
未払消費税等	226,806	38,903
賞与引当金	155,657	157,366
未払費用	205,845	208,571
その他	121,494	114,898
流動負債合計	2,747,474	2,722,232
固定負債		
社債	200,000	-
長期借入金	5,777,180	6,195,566
長期預り金	242,862	242,862
リース債務	6,446	35,555
繰延税金負債	410,201	350,316
役員退職慰労引当金	118,836	98,619
退職給付に係る負債	629,077	641,047
資産除去債務	32,860	33,069
固定負債合計	7,417,465	7,597,038
負債合計	10,164,939	10,319,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,546,267	2,551,435
資本剰余金	2,321,217	2,326,385
利益剰余金	3,884,227	4,249,510
自己株式	△17,815	△18,196
株主資本合計	8,733,897	9,109,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,076,713	955,238
退職給付に係る調整累計額	△17,112	△15,350
その他の包括利益累計額合計	1,059,600	939,888
新株予約権	9,384	7,968
純資産合計	9,802,882	10,056,990
負債純資産合計	19,967,821	20,376,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業収益	4,922,453	5,167,019
営業原価	4,030,169	4,182,346
営業総利益	892,284	984,673
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	235,884	198,208
その他	172,948	130,531
販売費及び一般管理費合計	408,833	328,740
営業利益	483,450	655,933
営業外収益		
受取利息	429	797
受取配当金	24,847	26,412
社宅使用料	11,451	11,299
その他	11,394	21,576
営業外収益合計	48,122	60,086
営業外費用		
支払利息	63,734	53,253
持分法による投資損失	10,994	7,666
その他	10,672	17,436
営業外費用合計	85,401	78,356
経常利益	446,172	637,663
特別利益		
新株予約権戻入益	1,860	3,180
特別利益合計	1,860	3,180
特別損失		
ゴルフ会員権売却損	-	2,570
固定資産処分損	26,834	33,415
特別損失合計	26,834	35,985
税金等調整前四半期純利益	421,197	604,857
法人税、住民税及び事業税	129,396	206,961
法人税等調整額	37,726	△14,957
法人税等合計	167,123	192,004
四半期純利益	254,074	412,853
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	254,074	412,853

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	254,074	412,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	206,873	△121,503
退職給付に係る調整額	2,275	1,762
持分法適用会社に対する持分相当額	△51	28
その他の包括利益合計	209,097	△119,712
四半期包括利益	463,171	293,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463,171	293,141
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業	その他の 事業	計		
営業収益						
外部顧客に対する営業 収益	4,164,393	616,818	141,241	4,922,453	—	4,922,453
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	15,120	83,418	23,283	121,821	△121,821	—
計	4,179,513	700,237	164,524	5,044,275	△121,821	4,922,453
セグメント利益	208,280	500,342	28,754	737,378	△253,927	483,450

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額253,927千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用であります。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業	その他の 事業	計		
営業収益						
外部顧客に対する営業 収益	4,366,205	657,769	143,044	5,167,019	—	5,167,019
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	15,120	85,101	21,600	121,821	△121,821	—
計	4,381,325	742,871	164,644	5,288,841	△121,821	5,167,019
セグメント利益	321,297	519,115	32,902	873,315	△217,382	655,933

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額217,382千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用であります。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。